

2021年度 国際先端科学技術研究機構（IROAST）シンポジウム支援 公募要領

熊本大学では、本学の個性と強みを形成する世界レベルの先端研究を先鋭化することで、大学全体の機能強化を主導し、次世代を担う研究領域を育むことを目指しています。

また、国際先端科学技術研究機構（以下、IROAST）では、部局の枠を乗り越えて、国内外の優れた人材を結集し、国際共同研究及び融合研究を推進し、先端研究を組織的に展開することにより、本学が世界と伍する諸研究を更に進展させることを目標に掲げています。この目標を達成するため、以下の要領で公募します。

1. 目的

世界トップレベルの海外大学・研究機関より世界一線級の客員教授及び研究者等を招へいし、国際シンポジウムの開催を通じて本学の自然科学分野における研究力強化推進を確立し、国際共同研究の進展を図るための取組を支援する。

2. 経費支援額及び採択予定件数

1) 支援額は、200万円以内

2) 採択件数は、1～2件程度

*本公募は、円滑な事業実施のため、2021年度予算配当前に行うものです。

したがって、予算の状況によっては、支援額等内容に変更があり得ることをあらかじめご承知おきください。

3. 対象分野

開催テーマがIROASTの以下の重点領域のいずれかに該当していること。

1) 先進ナノ物質科学領域

酸化グラフェンナノシート、水素製造触媒、超高压・超重力など極限環境下での未踏新物質開発などを含む幅広い分野

2) グリーンエネルギー領域

地熱資源、水資源など再生可能エネルギー資源の開発とその応用、バイオマス応用などを含む幅広い分野

3) 気水圏環境科学領域

気水圏環境を対象とする環境評価と気候変動の解明、地下水や浅海域の保護などを含む幅広い分野

4) 先進グリーンバイオ領域

医学、薬学及び農学との融合領域、例えばドラッグデリバリーシステムの開発や環境に優しい農薬開発、X線CTやITによる医用診断などを含む幅広い分野

5) (1)～(4)のほか次期重点研究領域としての形成が見込まれる領域

例えば、機械学習、AI等の領域

4. 応募条件

1) IROAST主催のシンポジウムとすること。

2) 開催責任者が、自然科学系の本学専任教員（特任教員等を含む。）であること。

3) IROAST客員教授もしくは卓越教授及び本学の教員・大学院生・学部生（あわせて20名以上）が参加できること。

※学外者も参加できるものと望ましい。

4) 英語での開催であること。

5. 重複制限

同じシンポジウムについて、別途全学で行われる事業「熊本大学国際研究集会推進事業」との同時応募はできない。

6. シンポジウムの開催時期、開催場所

- 1) 開催時期：令和3年4月1日～令和4年2月28日
- 2) 開催場所：原則として、開催場所が本学内であること。
新型コロナウイルス感染症対策等により Web 会議システムを用いた開催も可とする。
やむを得ない理由によって学外を希望する場合は申請書にその理由を記載ください。

7. 支援対象経費

- 1) 本支援の対象となる経費は、外国人研究者等の招へい旅費、物件費等とする。ただし、謝金及び会議費を除く。
- 2) 本経費は、次年度への予算繰り越しはできない。
- 3) 原則として他の経費との合算使用はできないものとする。ただし、本事業と他の経費による支出の区分が明らかになる場合は、申請書にその旨を記載のうえ、IROAST 事務局にて審査する。

8. 採択時条件

- 1) 採択された場合は、IROAST 主催のシンポジウムとし、プログラム、ポスター・抄録集・Web site 等で主催であることを表示すること。
- 2) 抄録集を作成し、提出すること。

9. 応募手続

以下の書類を提出期限までに提出すること。

- ・申込書(様式1)
- ・その他参考となるもの(予定しているシンポジウムの準備状況がわかる資料、以前類似で開催したシンポジウムがあれば、そのプログラム・抄録集、参加者数や外国人参加者数などの情報等)

1) 提出期限

令和2年12月18日(金)

※応募の無い場合や審査の結果全件不採択となった場合等は、追加で公募を行う可能性がある。

2) 提出先

IROAST 事務局

(自然科学系事務課国際先端科学技術研究機構担当)

10. 選考

研究機構長と副研究機構長において審査決定し、IROAST 事務局より、令和3年3月末までに採択の可否を申請者に通知する。

※審査基準

- ・IROASTの活動目的に合致するか
- ・応募条件を満たしているか
- ・本学の自然科学系分野における国際的な研究活動を活性化する内容であるか
- ・シンポジウム開催のための実施体制が確保されているか
- ・前年度までの採択者の申請を妨げるものではないが、申請多数の場合は、新規申請分を優先して採択する。

1 1. 報告

開催責任者は、実施後1か月以内に報告書(様式2)を提出しなければならない。
※実績報告書作成等にあたり、取組状況の資料の作成等協力を求めることがある。

1 2. 開催責任者の責務

開催責任者は、申請に際し、次の責務を負うこと。

- 企画全体の統括、会場予約等それに係る準備と当日の運営
- 広報用ポスター、プログラム等の関係資料作成及びIROAST事務局への提供
- 講演者の招へいに係る調整
- 報告書の提出(開催後、1か月以内)
- IROASTウェブサイト等でのシンポジウム開催報告の承諾

1 3. IROAST事務局の支援業務

- 広報(IROASTウェブサイト及び全学一斉メール)
- 旅費精算手続き及び予算管理業務
- その他開催に必要な協力事項

(本件お問い合わせ先) 自然科学系事務課
国際先端科学技術研究機構
佐藤《内線 3362》
電子メール：szk-kiko@jimu.kumamoto-u.ac.jp